

2002
四季の「サト」だより

2002年10月1日発行

浜松音楽友の会

事務局 〒430-0904浜松市中沢町44-11

電話連絡 (053)473-3579(原)

<http://www6.plala.or.jp/hamatomo/>

浜松音楽友の会によせて

戸田 弥生

2002年4月にピアニストのエル=バシャ氏と共に、浜松にてリサイタルをさせていただきましたこと、温かく迎えていただきましたこと、心から感謝致します。

今、オランダのアムステルダムに再び住んで、音楽の勉強を続けておりますが、30歳を過ぎた頃からよく思いますことは、私にとって常に時間をかけて考えていく、いろいろなことを自分に認識させることがどれだけ大切か、ということです。思い返してみますと、20代後半のアメリカ留学時代の3年間、あの殺伐とした競争社会にどうしても私自身なじめず、また最初に勉強した土地、アムステルダムに戻ってきたという最も大きな理由も、何故かここへ戻ってくると、自分を見つめ直す、冷静にいろいろなことが考えることができる、私にとってはかけがえない時間をもつことができる唯一の場所だからと実感します。そして、その中で音楽との関わり、人と人との出会いの中から少しずつ学んできたこと、自分の生き方、いろいろなことを考えます。そのような時間の中で、本を読む時間も私にとって考える

ということの大切なことの1つです。

今年の夏は、約2ヵ月間オフの時間があるので、早速いろいろな本を福井の実家からこちらへ持ってきたのですが、最近は新しいものを読み始

めること以上に、昔学生の頃読んだ、本当に自分の好きな本をまた取り出して読み返すことが多くなりました。今読んでいます武満徹対談集「ひとつの音に世界を聴く」(晶文社)もその中の1冊です。特にPart I「義太夫の世界」「薩摩琵琶の世界」「海童道の世界」の中に、これから音楽をすすめていく上での音楽家としての姿勢を学ぶと共に、ヨーロッパに生まれ育った音楽に対して、やはりとても日本人である私自身の感性が、どの部分で反応して、それを自分の中に吸収させて表現として出てきたものの、やはり他とは全く違うもの、本当の私の中の言葉を、大きな自信を持って探していけるという確信を自分に納得させることができた素晴らしい経験として読んでいます。

私の中で音楽との関わりというのは、今まで生きてきた、またこれからどのように人生を送っていくか、ものすごく強い結びつきがあって、一人の音楽家以上に一人の人間としての自分への問いかけの連続です。

今年の4月に、新しく出来上がったバッハのCDの小冊子の中にも、今の自分の気持ちを少し書いておりますが、自分の中の、本当に許されたものすごく繊細な自由というものの中から、どこまで意識的に考え、その意識を音楽に立ち向かわせることができるか、限られた時間の中で、これからどこまでつきつめて歩いていくことができるか、自分への挑戦です。



***** ガブリリユクさんからの便り *****

ご存知のとおり、ピアニストのアレクサンダー・ガブリリユクさんが、5月末にオーストラリアで交通事故に遭い、6月に予定されていた夏のコンサートに出演することができませんでした。会員の皆様もその後の様子をご心配されていることと思いますが、先日ガブリリユクさんから浜松音楽友の会宛に、下記のようなFAXが送られてきましたのでご報告致します。ガブリリユクさんの一刻も早い回復をお祈りするとともに、友の会での演奏会の実現に、今後とも努めていきたいと思っております。

私の演奏会を計画して下さった浜松の皆様へ

まずはじめに、私が交通事故にあった後、私を支えて下さった方々に心よりお礼を申し上げます。また、今年の6月に浜松と静岡での演奏会をキャンセルしなくてはならなかった事を、心よりお詫びしたいと思っております。本当に浜松へ行って皆様のために演奏をしたいと思っておりました。しかし、事故の後にはもうしばらく演奏活動を休む時間が必要だと思っております。

今、私は新しい力を持って再びピアノを弾いています。神が与えてくれた二度目の人生を無駄にしないように、そして音楽の素晴らしい世界をもっともっと探求し、成し遂げられるように努力したいと思っております。

もし私の演奏会を延期できるものなら、ぜひそうさせていただきたいと思っております。

近いうちにまた、皆様にお会いできますように……。

友の会の思い出

先日はコンサートに出演させていただき、ありがとうございました。

地元での演奏は緊張しましたが、たくさんの方々にお越しいただき、嬉しい気持ちでいっぱいでした。お越しいただいた皆様にこの場をお借りして、リンクスメンバー及びスタッフ一同を代表致しまして、心より御礼申し上げます。

私たちがフルート四重奏を組んだのは、大学2年の室内楽の授業がきっかけでした。当時は授業なので仕方なく、という感じだったのですが、やっているうちに面白くなってきました。大学卒業後も活動を続け、いろいろな場所で演奏させていただきました。そして今では、フルートとリンクスというグループは自分にはなくてはならないものとなりました。

フルート四重奏には、弦楽四重奏とはまた違った良さがあると思います。フルート四重奏は響きが明るいということもあり、クラシックというジャンルを越えていろいろな方々に楽しんで聴いていただけるのでは…と私たちは思っておりますが、いかがでしょうか？

家族で楽しむコンサート

「いろいろな音楽が聴けて、楽しいわヨ！」という友達に誘われて入会しました。小学校に入学したばかりの息子を連れて、家族3人で出かけました。夜の時間帯という事もあり、息子はコンサートの間ほとんど寝ていたり、途中トイレに行っても入場できず、ホールの外で聴いていたり……たくさんの思い出があります。

そんな息子も小学5年生になり、コンサートの間、寝てしまう事もなくなりました。曲が終わると惜しめない拍手を演奏者におくっています。年月の流れとともに子どもの成長も感じます。

きれいな音をありがとう

「なんて澄んだきれいな音なんだろう」フルートの音色は私の心の中にスーッと入りこんできました。5月にあったフルートアンサンブル「リンクス」のコンサートは、よく知られている名曲のオンパレードという感じで、頭の中でメロディーをいっしょに歌いながら聴くことができ、とても楽しく素敵な演奏会でした。

私が好きだった曲はドビュッシーの「行列」、ラヴェルの「亡き王女のためのパヴァーヌ」、モーツァルトのババゲーノのアリア「私は鳥刺し」です。ドビュッシーとラヴェルは、4本のフルートの重なり合ったなんともいえないハーモニーが、

フルーティスト 松崎麻衣子

私の母が以前、友の会のスタッフだったこともあり、四季のコンサートには度々足を運んでいました。数々のコンサートが思い出されます。高校の時聴いた「須川展也と木管五重奏団の夕べ」は心に残ったものの一つです。サクスの四重奏「トルバールクワルテット」ではこんなにいろいろな表現が出来るのかと感動したものです。私たちはフルート四重奏をやるようになった訳ですが、リンクスならではの様々の表現を一人でも多くの方に楽しんで頂けるよう精進していきたくと思います。



最後になりましたが、私の小さい頃からの思い出の「四季のコンサート」で演奏させていただき、ありがとうございました。また、スタッフの方々の細やかな様々のお心遣いに感謝しています。

友の会会員 池田恭子

我が家はいつも最前列に近い席で、演奏者の汗、息づかい、指の動きなどじっくりと拝見させていただいています。「今日の演奏者ってさ……」と家族の会話に花が咲きます。今までを振り返ってみると、鮫島有美子さんの「かんびょう」という歌がとても楽しかった事、ピアノ伴奏で登場した奥村友美さんがピアニストとして登場した事、オーボエやサクスの音色に感動した事など、私たち自身の興味の幅も広がり、嬉しい限りです。

これからも話題豊富な四季のコンサートでありますように。

小学5年 常盤星来

ホールをやさしく包んでくれました。モーツァルトは4本のフルートが、まるでおしゃべりでもしているかのようにおもしろかったので、家に帰ってからもCDを何回も聴きました。

四季のコンサートは、ふだん聴けないようないろいろな楽器の演奏を聴くことができます。私はピアノを習っていますが、不思議と印象に残っているのはマリンバやサクソフォン、ギターなどの音色です。これからもいろいろな楽器の音楽を楽しんでいけたらいいなと思っています。「リンクス」さん！きれいな音をありがとうございました。

これからのコンサート予定

秋

アレクサンドル・ナウメンコ バスリサイタル

10月10日(木) 6:45 PM

モスクワ・ポリショイ歌劇場のバス歌手として活躍中のアレクサンドル・ナウメンコは、優れた音楽家としてロシア功労芸術家の表彰を受けています。今回浜松音楽友の会のために、初来日となりました。ロシアオペラアリアから本場ロシア民謡まで、盛りだくさんのプログラムをお届けします。伴奏は愛娘で、若手ピアニストとして注目を浴びているアレクサンドラ・ナウメンコ。父娘の息のあった共演によるロシア音楽の夕べをお楽しみください。



プログラム

チャイコフスキー／オペラ「エフゲニ・オネーギン」より
 グレーミン公爵のアリア
 語るな我が友よ Op.6-2
 森よ、お前達を祝福する Op.47-5
 ドン・ファン・セラナード Op.38-1
 さわがしい舞踏会で Op.38-3
 ただひとこと
 ラフマニノフ／オペラ「アレコ」より 老人の物語
 夢 Op.8-5
 朝 Op.4-2
 全てを奪われて Op.26-2
 悲しい夜 Op.26-12
 おお、出て行かないで Op.4-1

グリンカ／オペラ「イヴァン・スサーニン」より
 スサーニンのアリア
 リムスキー・コルサコフ／
 アンチャール、死の樹 Op.49-1
 ムソルグスキー／オペラ「ボリス・ゴドノフ」より
 ボリス・ゴドノフのモノローグ
 歌曲集「青年時代」より
 星よ、おまえはどこに
 愛の言葉が何でしょう
 スヴィリドフ／兵士が戻ってきた
 イジョールへたどり着く
 ロシア民謡／黒い瞳
 モスクワ郊外の夜はふけて 他4曲

冬

徳永二男と仲間たち

12月6日(金) 6:45 PM



ヴァイオリン
小林 美恵



ビオラ
篠崎 友美



チェロ
古川 展生



ピアノ
伊藤 恵

長年N響のコンサートマスターとして活躍し、人気、実力ともに日本を代表するヴァイオリニスト、徳永二男と気の合った仲間たちによるコンサートです。メンバーはそれぞれ世界のコンクールで入賞を果たし、ソリストとして有名なヴァイオリンの小林美恵、ピアノの伊藤恵、チェロの古川展生、ヴィオラの篠崎友美といった日本のトップアーティストたちです。豪華メンバーによる至高の室内楽は、必ずや皆様にご満足いただけることでしょう。

プログラム

ハイドン／弦楽四重奏曲 第67番 二長調「ひばり」
 モーツァルト／ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 K.478
 ブラームス／ピアノ五重奏曲 ヘ短調 Op.34

★お願い！ 演奏会の日時をお忘れなく★

おかげさまで浜松音楽友の会には現在、はまホールを満席にするぐらいの会員がいらっしゃいます。それにもかかわらず残念なことに、時々空席が目立つように思われます。どうぞ演奏会の日時をお忘れになりませんように、お気をつけてください。もしお出掛けになれない時は、チケットをお知り合いの方に差し上げて頂けませんでしょうか。一人でも多くの方々いらして頂き、会場いっぱいの人々と拍手で演奏者をお迎えし、「ふれあうことのできる音楽会」を催せたらとスタッフ一同願っております。

浜松音楽友の会創立20周年記念

2003年 四季コンサート 予定

春 仲道郁代・仲道祐子 ピアノデュオリサイタル 4月11日(金)

浜松が誇る、日本を代表するピアニストとして大活躍している仲道郁代と妹の仲道祐子によるピアノデュオ。「このコンサートを楽しくて心暖まるものになりたい」という二人の情熱から生まれた、アイデア満載のプログラムです。2台のピアノによる華やかでダイナミックな音の世界をお楽しみください。

夏 堤 剛 チェロリサイタル 6月20日(金)

1950年、8歳にして初のリサイタルを開いた堤剛は、現在国際的なトップチェロ奏者として世界の檜舞台で活躍しています。日本芸術院賞をはじめとして、第2回サントリー音楽賞、イザイ・メダルなど数々の栄誉ある賞を受賞。共演したオーケストラはボストン響、ウィーン響、チェコフィル等、枚挙に暇がありません。現在、アメリカを拠点に、益々円熟味を増している巨匠の演奏をご堪能ください。

秋 工藤重典とウィーンフィルの仲間たち 9月20日(土)

日本が生んだ世界的なフルート奏者である工藤重典と、ウィーンフィルの仲間たちを迎えてお贈りする華やかなコンサート。コンサートマスターであるライナー・ホーネックのヴァイオリンをはじめとし、ヴィオラ、チェロ、ハープによる魅力的なプログラムをお届けいたします。友の会20周年記念を飾る世界のトップアーティストによる夢の共演。

冬 大岩千穂 ソプラノリサイタル 12月^(日)予定

今年の11月、第3回「国際オペラコンクール・イン・静岡」が浜松で開催されます。その第1回で最高位を受賞して注目を浴びた大岩千穂は、その後海外のオペラ公演で成功を収め、1997年の日本でのオペラ・デビュー以来、「カルメン」のミカエラや「椿姫」「蝶々夫人」などを歌い絶賛されています。音楽性と表現力を兼ね備えた期待のリリックソプラノとして、ヨーロッパはもとより、世界の歌劇場に活躍の場を拡げています。久しぶりの浜松での演奏に乞うご期待！ ミラノ在住。

浜松出身の演奏家シリーズ

福井健太 サクソフォンリサイタル 5月25日(日)

浜松西高在学中から評価の高かったサクソフォン奏者。東京芸術大学卒業後、ピアノとのデュオユニット「UNIQODOX」を結成し、すでに何枚かのCDをリリースしています。クラシックのみならず、ジャンルにこだわらない魅力的なコンサートやライブ活動が話題となり、国内外で大きな反響を呼んでいます。サクソフォンによる楽しいプログラムをご期待ください。

各回共 於：はまホール

★会員の皆様へのお願い★

会員日より 皆様のご寄稿をお待ちします。400字詰原稿用紙2枚以内でお願いいたします。テーマは自由です。

会員登録は、年度が変わってもそのまま継続されます。

退会希望の方は、ハガキに住所・氏名・電話・会員番号をご記入の上、前年度の12月末日迄に、事務局宛に退会の旨をご連絡ください。

名義変更の方は、ハガキに旧会員と新会員の住所・氏名・電話・会員番号(旧会員の)をご記入の上、事務局宛にお送りください。

保育室ご利用の方は、コンサートの前日までに、金子 053(478)7478までお申込みください。

開場時(開演30分前)から終演までお預かりします。1回500円です。

●インタビュー・花束贈呈係を募集しています。ご希望の方は、事務局までご連絡下さい。